

ているのだろう。茹でたにんじんも、塩もみしたきゅうりも、炒めたたまねぎも、小さめのハムも、具材による食感の変化よりも、全体の味がなじむように、ひとまとまりになるように作られていると思う。

明るく多趣味で、時に身内ならではの手厳しい指摘もするおばあちゃんだが、内面は気遣い屋で繊細。おばあちゃんの作る料理は、包み込むような優しい味が多い。

料理は得意ではない私だが、このポテトサラダは自信を持って作れる。職場の先輩には「ポテトサラダはパサパサして嫌いだったが、これは美味しい！」と言われ、あまり料理の感想を言わない夫にも「何か感動した」と言わしめた（言われてびっくりした）。大好きなおおばあちゃんに教えてもらった大好きな味のポテトサラダ、美味しくなあれと、きつと無意識に念じながら混ぜているのだろう。

おばあちゃんに会いたい。でももう会えない。できなかつたことを考えてもみても何に

もならないけど、おばあちゃんのポテトサラ
ダを作って、たくさんの思い出を描いて、大
切な人たちに食べてもらおう。